

【管理運営状況公表様式】

平成21年度 青森県男女共同参画センター及び青森県子ども
家庭支援センター（アピオあおもり）の管理運営状況

県所管課	環境生活部青少年・男女共同参画課 健康福祉部こどもみらい課
指定管理者	アスタグループ 代表者である構成員 株式会社 阿部重組 芝管工 株式会社 株式会社 テレコム青森
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日

1 管理業務の実施状況

(1) 青森県男女共同参画センター

業務区分	概要
相談事業	女性問題解決の視点から、女性が直面している問題を受け止め、解決に向けた支援を行った。また、相談事業の一環としてミニ講座の企画・運営を募集し、「こころとからだの健康講座」を実施した。
オープンカレッジ	広く県民に男女共同参画の意義をわかりやすい内容で普及啓発するために、市町村との共催により、アピオあおもりを含め県内市町村で開催した。内容は、各市町村の現状・ニーズと合ったものとした。
情報誌発行业務	男女共同参画の視点に立った情報誌を発行した。地域バランスを考慮した誌面構成とし、編集には県内各地区から地域性も考慮してスタッフを募集するなど、県民参加型の情報誌とした。
情報事業	情報ライブラリーは、女性情報を収集、蓄積、提供する図書館であり、男女共同参画社会づくりのリソースセンターの役割を果たした。 また、ホームページを随時更新し、最新の情報を提供した。

(2) 青森県子ども家庭支援センター

業務区分	概要
情報提供事業	ホームページの運営等により、子どもと家庭に関する情報提供を行った。また、子どもが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進のために、子育て支援に関する啓発情報誌を発行した。
活動支援事業	地域における総合的な子育て支援の推進を図るため、県内の地域子育て支援センター職員等を対象に子育て支援の基盤づくり・連携の強化に重点を置いた研修、実技向上のための講習会を開催した。また、子育て団体の学習会等に講師を派遣し、団体活動の活性化につなげた。
総合相談事業	子育ての悩みや子どもの問題など、子どもと家庭に関する様々な相談を電話及び面接で受け付け、解決に向けた支援を行った。
学習・体験事業	児童図書室では、乳幼児から小学校低学年を対象とした児童図書やビデオ等の貸出を行った。また、子育てに生かせるよう、様々な学習・体験活動を開催し、親子のスキンシップを図った。

業務区分	概要
普及啓発事業	社会全体で子育てすることの重要性を学ぶ機会を設け、子育て関連団体と協働し、交流とネットワークづくりを推進した。
調査研究事業	県内の子育てサークルや子育て支援団体の所在や活動状況を調査し、リストを作成・配布した

2 管理施設の利用状況

(1) 青森県男女共同参画センター、青森県子ども家庭支援センター共通

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
貸館利用者数 (人)	H20	85,000	84,324	99.2%	119.0%
	H21	85,000	79,414	93.4%	94.2%
	H22	85,000			
	H23				
施設使用料収入 (円)	H20	6,570,000	6,298,725	95.9%	94.8%
	H21	6,570,000	6,296,590	95.8%	100.0%
	H22	6,570,000			
	H23				

(2) 青森県男女共同参画センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
情報ライブラリー 貸出件数 (件)	H20	12,000	11,785	98.2%	104.0%
	H21	13,000	13,171	101.3%	111.8%
	H22	14,000			
	H23				
オープンカレッジ 参加者数 (人)	H20	1,000	1,898	189.8%	190.2%
	H21	募集定員の95% (665人)	730	109.8%	—
	H22	募集定員の100%			
	H23				
情報誌読者アンケート満足度 (H20 まで情報誌発行数 (部))	H20	7,000	7,000	100.0%	100.0%
	H21	5段階評価の4	3.7	92.5%	—
	H22	5段階評価の4			
	H23				

(3) 青森県子ども家庭支援センター

利用指標	年度	計画	実績	計画対比(%)	前年度対比(%)
情報誌活用度 (H20 まで情報誌発行数 (部))	H20	12,000	12,000	100.0%	100.0%
	H21	活かせる・ためになった 90%	活かせる・ためになった 99.5%	110.6%	—
	H22	活かせる・ためになった 95%			
	H23				

手作りおもちゃ講習会参加者 (人)	H 2 0	90	91	101.1%	130.0%
	H 2 1	100	107	107.0%	117.6%
	H 2 2	150			
	H 2 3				
親子すくすくスキップ参加者 (人)	H 2 0	740	485	65.5%	72.5%
	H 2 1	募集定員の 95% (1,315.8 人)	1,323	100.5%	—
	H 2 2	親子向け 募集定員の 98% 指導者向け 募集定員の 95%			
	H 2 3				
子育て広場参加者 (人)	H 2 0	230	1,500	652.2%	510.2%
	H 2 1	ホームスタート事業第 3 回 講座定員の 50% (10 人)	12	120.0%	—
	H 2 2	300			
	H 2 3				

【増減理由】

・貸館利用者数の減少について

貸館件数及び貸館利用者数は減少しているが、施設使用料収入は平成 20 年度とほぼ同額(平成 22 年度の 99.97%)となっています。

・オープンカレッジ参加者数について

本事業は 6 回の開催を基本とし、参加者は概ね 1 会場につき 100 人程度である。平成 20 年度は著名な講師による講演があり、参加者数が大幅に増加した。平成 21 年度は、事業内容を市町村の現状やニーズに合ったものとし、事業の方向性をより明確にしたことから、参加者数の突出した増加は見られなかったが、成果目標(募集定員の 95%)は達成しています。

・子育て広場参加者

平成 21 年度は、ホームスタート事業(家庭訪問型子育て事業)に重点的に取り組んだところ、全講座(3 回)受講者数が第 3 回講座定員の 50%以上とする成果目標を達成したばかりでなく、実際にホームスタート事業に取り組もうとする市町村も見られました。

3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	職員のマナー向上を目的に専門家の指導・講習を実施した。また、「ご意見箱」の設置やアンケートの実施により利用者の意見・苦情を把握し、水飲み場の利用を再開するなど、サービスの維持・向上に向けた取組が適切になされている。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	A	A	情報誌、リーフレット、ホームページ等の活用により情報提供に努め、アピオ登録団体のネットワーク化により地域との交流・連携を図るとともに、近隣小学校児童の施設見学会に対応するなど、貸館の利用促進や事業への参加促進に向けた取組みが適切になされている。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	A	建物・設備の適正な管理や清掃業務の適正な実施などにより、安全性が確保され、利用者が快適に利用できるような状態が確保されている。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	A	A	緊急連絡系統図の周知の徹底を図るとともに、消防訓練等を実施しており、緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われている。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	A	A	経費節減のための努力がなされ、利用料金収入の目標値が概ね達成されており、指定管理料が適正に執行されている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	A	A	成果目標が概ね達成されており、成果目標を上回る利用指標があるなど、成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっている。
⑦個人情報の保護に対する体制の構築・取組みを行っているか	A	A	個人情報保護担当者の設置や情報公開実施要綱の制定など、個人情報の保護に対する体制の構築・取組みが適切に行われている。
総合評価	A	A	サービスの維持・向上、利用促進に向けた取組みが行われ、施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われている等、管理業務について適切に行われており、優れた実績をあげている。

○評価基準

- A (優) : 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良) : 適正である
- C (可) : 概ね適正であるが、一部改善を要する
- D (不可) : 改善や更なる取組が必要